２０２４年花だより　８　　２０２４．４．９

２月末から続いてきたどちらかと言えば♪早春賦♪、肌寒い天候が続いてきていましたが、３月下旬になって一転し急に暖気が入るようになりました。気象庁から発表されていた３月の１ヶ月予報では第３週目からは平年よりは気温が高くなるとのことでしたが１週ずれての本格的な春となったようです。昨年、一昨年は３月に入るや平年を上回る暖かな日が続いたので、余計「春」の訪れを遅く感じたのでしょう。でも、このところは遅れていた春を取り返すかのように、急転し ３ 月末近くになって急激な気温上昇や慈雨は、✿に限らず種々の樹木を揺り起こし、開花や展葉が急進、「文字通り・三日見ぬ間のなんとか」の状況続き、当方の近所歩きの歩数も自然と上がる日々が続いています。余談ながら、毎年 ３ 月末に定期的に受けている「血液検査」で今回は CPK の値が基準値上限の 1.5 倍・H どころか『再検査』の表示が出る始末。主治医殿は、「筋肉に関係する項目・運動し過ぎると上がる。」との弁。再検査は保留。

４月６日は、わが家の年中行事としているの「夙川の観✿」、こちらは「祭」的行事はなし。ただ、春休み、土曜の休日とあって、午前 10 時と早めに出かけたのに予想以上の人出でした。でも夙川河岸の緑地の青松に映える満開の桜、川面の倒映の桜・この季節ならではの景観は何度見ても飽きることなく、散策を楽しんできました。

翌７日は半住区の「芦屋さくら祭り」。丁度満開となった✿の芦屋川の河岸沿いの道路を一部歩行者専用とし、各種団体の出店・飲食とステージ・ライブが楽しめる昔ながらの縁日の趣向。こちらも日曜休日と晴天、暑いぐらいの陽気に誘われ、正に歩行者天国。通りは勿論、河川敷、さらには川のなかまで・・・人・人・人であふれていました。お祭り気分を味わって早々に引き上げて来ました。日本人の心と✿、切っても切れない縁などと宣うのは私だけでしょうか。

私的な記述の割り込みで失礼しましたが、何時ものようにお天気予報から書き下します。気象庁の４月以降の３か月間の近畿地方の天気予報については、「花だより 6」に掲載しましたので、そちらを参照下さい。４月以降は平年比では気温は高め、降水量は多いと予想されていますが・・。ここでは、最近発表されている最新の近畿圏１ヶ月間の予報を記述しておきます。

１．近畿地方 の向こう１か月予報（2024 年 04 月 04 日大阪管区気象台発表）　　*お天気のポイント

・向こう１か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。特に、期間の前半はかなり高くなる可能性があります。　１ヶ月の気温　　低 10 並 20 高 70%　　高い見込み

・低気圧や前線などの影響を受けやすい時期があるため、向こう１か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。　１ヶ月の降水量　少 20 並 40 多 40%　　平年並か多い見込み

週別の平均気温と天候（毎週木曜日に更新されます。）

・**第１週**（4 月 6 日～12 日）

低気圧や前線の影響を受けやすいため、曇りや雨の日が多いでしょう。

気温；低 10 並 30 高 60%　高い見込み、

・**第２週**（4 月 13 日~19 日）

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温；低 10 並 20 高 70%　高い見込み

・**第３，４週**（4 月 20 日~5 月 3 日）

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温；低２0 並 40 高 40%　　平年並みか高い見込み

＊週間予報と同時に、前週の実況が下記のように発表されます。ご参考に・・・

（実況）03/28～04/03	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
近畿地方	+3.8℃（かなり高い）	220%（かなり多い）	99%（平年並）
近畿日本海側	+3.5℃（かなり高い）	174%（多い）	109%（平年並）
近畿太平洋側	+3.9℃（かなり高い）	237%（かなり多い）	96%（平年並）

以下附近のサクラの開花の記録です。

３．ヨウコウ（陽光桜）

・ヨウコウザクラに関しては 2020 年にその歴史なども紹介していますが、簡単に再掲しておきます。本種の品種登録は１９８１年と比較的若く、作者は愛媛県で教員を務めていた高岡正明氏、戦争によって亡くした教え子の鎮魂と平和を祈念し、長い歳月を費やして寒さに強い**アマギヨシノ**と暑さに強い**ヒカンザクラ**を交配させて誕生させたとされています。同じ系統の紅色花をつける**カワズザクラ**より花色が濃く、大輪で下向きに咲く特徴があります。以前はあまあり見かけなかった種のサクラでしたが最近は、あちこちで植栽が見られるようになって来ています。近くでは、芦屋市の「さくら参道」の 3 年前の改装時にソメイヨシノの古木に代わって 30 本ほどが並木として植栽されています。

この参道の陽光並木群とは別に、以前から観察を続けてきている標準木があり、今年の開花・満開記録は以下の通りです。

	開花日	満開日
2020 年	3 月 16 日	3 月 26 日
2021 年	3 月 11 日	3 月 21 日
2022 年	3 月 16 日	3 月 29 日
2023 年	3 月 16 日	3 月 22 日
2024 年	3 月 21 日	3 月 29 日

・今年の開花は 2 月下旬以降の気温が低かった影響で、この 5 年間では最も遅い開花記録となりました。なお、開花後は 3 月 26 日以降の気温上昇で、3 月 27 日の 5 分咲きから 2 日間で満開となりました。

４．ベニシダレの開花

エドヒガンの変種で、枝垂れの樹形の桜の中で花色が特に濃いものがベニシダレとしいて区分されています。 花は文字通り紅色で小輪の一重咲きです。古くから全国各地に植栽され、銘木や名所が各所に存在するのはご承知の通り。私の近くでも、科の 3 月の自然観察会で訪れた西宮市立・北山緑化植物園に立派には樹形が整えられた本種 2 本が植栽され、オオシマザクラや市のオリジナルの夙川舞桜、西宮権現桜などと共に市民の目を楽しませてくれます。時間があれば、訪れたいところですが・・・本種については以前からお伝えしていますように、私の日頃の散策路の芦屋の市街地の上部・高級住宅街（六麓荘町）の一画の畑地 3 枚の周囲に 30 本程が植えられています。樹齢は土地の人の話では 60 年以上、樹高は１０ｍを超える古木群です。一応、芦屋の山手の幹線道路に面した一群の桜を開花・満開の観察対象としていますが・・。既述のように、ここの開花・満開は一斉ではなく、写真のように道路に面した数本が早く開花。年によって（開花期の気温といった方が正しいかも）後方の群れは 10 日ほども開花が遅れることもあります。なお、この附近ではこの一群の桜とは別に、個人宅やマンションの庭、芦屋市保護林などにもベニシダレの若木が植えられ数本は５～６ｍの樹高に達して来ています。まだまだ、古木群にはおよびませんが・・・年々花数も増えて来ているようです。

・芦屋市山手の公園の河津ザクラ、並木としての陽光ザクラの植栽の様に何等かの意図があるのでしょうか。

写真掲載の✿開花データーは下記の通りです。昨年度の開花日は **3 月 15 日**頃と推定しています。

	開花日	満開日	
2021 年	3 月 15 日	3 月 23 日	
2022 年	3 月 23 日	3 月 27 日	
2023 年	＊3 月 17 日	3 月 23 日	＊3 分咲き
2024 年	3 月 26 日	4 月 1 日	

・本種についても昨年などに比べ開花がおくれました。原因はヨウコウザクラと同様に、今年の 2 月下旬以降の平年を下回るような気温の影響でしょう。

５．八重ベニシダレ、

住居であるマンションの中庭には、過っては直径４０ｃｍ程、樹高も７，８ｍはある遅咲きのヤマザクラがシンボルツリーとして植えられていました。私のような下戸には関係ありませんが、このサクラの下では毎年，ささやか乍ら住民有志によるお花見会など催されていて交流の場となっていました。ところが 10 数年前に芯部の腐食が原因？で斜傾していた１方の主幹が突然基部より折れ結局切り倒されたままとなっていました。その後、住民の希望もあり、2020 年に八重ベニシダレが、また、昨年にはサトザクラ 3 本が植えられました。八重ベニシダレは植栽翌年の 2021 年から花を付け始めましたがまだシンボルツリーなどと言える程には育っていません。最も身近な桜なので開花の記録だけは取り始めています。この桜の画像は昨年紹介済みですので略。右の画像は、今年見つけた夙川の堤防東側の法面に植えられている八重ベニシダレです。この法面には本種の他、ソメイヨシノは勿論、河津桜やサトザクラなども多く植えられていますが、河岸遊歩道側からは見えず知る人は少ないようです。4 月 6 日の散策時、丁度満開となっていましたので掲載しておきます。忘備録として観測している当マンションの桜の開花記録も並べておきます。

	開花日	満開日	開花期間
２０２１年	**3月２７日**	**3月３１日**	**5日**
２０２２年	**3月２６日**	**3月３１日**	**6日**
２０２３年	**3月２３日**	**3月２７日**	**5日**
２０２４年	**3月２６日**	**４月　１日**	**７日**

6. オオシマザクラ

オオシマザクラはヤマザクラやソメイヨシノと共に良く見かける桜であるが、何気なく見ていると区別が難しい場合も多い種です。確かに、本種はソメイヨシノより若干開花が早く、開花直後の花色は白色であるが、日が経つにつれて薄い紅色に変じて来ます。こうなると花色だけからはソメイヨシノとの区別がつかなくなります。お粗末な話ですが、近くのマンションの外周に 20 本ほど植えられている桜並木は数年前までは、全てソメイヨシノと思い込んでいました。この内、実は 3 本がオオシマであることに気付いたのは「サクラ調査」を始めた 4 年前、それ以降の観測対象として来ています。その気になって観ていると開花時の芽の苞葉、蕾・花柄などもが緑色であり、花色も純白、通常ソメイヨシノのより開花が 2, 3 日早いので区別は容易ですが、開花後には日を追うごとに花弁が紅色に転じて来ます。こうなると花だけではソメイヨシノとのことです区別が難しくなります。（次ページ画像参照）

さらに、厄介になって来ているのがソメイヨシノの代替品種としてマンション前庭や公園などにヤマザクラ系の植栽が増えて来てい

ることです。褐葉・紅色花系であればとも角、緑葉・白色花系の植栽が増えて来ていて、これとオオシマザクラの区別は極めて難しいのです。今のところ、開花が少し遅いのと、花の色（白色）が終わりまで変わらないことで判別してはいますが・・・。

・右はオオシマザクラの花色の変化、白色の花は開花初期のもの、日が経つと紅色化してくる様がお分りになるかと思います。

＊観察地の 5 ヶ年間の記録は以下の通りで、附近のソメイヨシノより 2，3 日開花は早目です。今年は昨年より 10 日程遅い開花、開花期の３月の気温経過にリンクしていると思っています。

	開花日	満開日
2020 年	3 月 19 日	3 月 29 日
2021 年	3 月 16 日	3 月 25 日
2022 年	3 月 24 日	3 月 29 日
2023 年	3 月 18 日	3 月 24 日
2024 年	3 月 27 日	4 月 2 日

右の 3 枚の画像は、桜並木の内、上からオオシマザクラ開花（5 分）時、ソメイヨシノの開花が始まったころ。今年の開花の特徴は、上方の枝先まで一斉開花状態となったこと。

その下は、ソメイヨシノがほぼ満開になったころ。

白い方がソメイヨシノ、ピンクはオオシマザクラです。ソメイヨシノも枝先まで開花となりました。

その後は下の画像のように、両者の区別がつかなくなりますが、オオシマザクラの落花が早く、最後の画像のように緑色の樹体が出現し区別できるようになりますが、ソメイヨシノが落花・展葉するまでのこと、夏季には並木全体が緑一色となり見かけ上は全く区別がつかなくなります。こんなことから、ソメイヨシノの並木と思い込んでいた次第です。良く観れば、樹皮や冬芽の芽鱗・鱗片葉に毛のある・なしで判別できるのですが・・・。

緑葉・白花系ヤマザクラとの判別は花期以外お手上げ。

７．オオヤマザクラ

オオヤマザクラはバラ科サクラ属の落葉高木のサクラ。日本に自生する 10 もしくは 11 あるサクラ属の基本野生種の一つ。標準和名の**オオヤマザクラ**の由来は、ヤマザクラに比べ花が大きいことによるとのこと。花色の特徴から**ベニヤマザクラ（紅山桜）**、北海道に多く生育していることから**エゾヤマザクラ（蝦夷山桜）**の別名があります。関東以北では販売用の「山桜」表記の苗木には、ヤマザクラではなく本種が使われているとのことですが、本来は寒冷地の桜です。3 月の観察会で訪れた北山緑化植物園に本種が植えられているのは知っていましたが、・・・この附近でも、夙川教会近くのマンションの庭に本種が 3 本も植えられており、樹高も１０ｍほどになっていることを 2，3 年前に知りました。ただ、やはり気候に合わないのかこれまでは早春にパラパラと花をつける程度でしたが、今年はどうゆう理由によるのかは分かりませんが、右の画像のように数百？輪もの花を見せてくれました。**一重咲きで直径 3－4cm の中輪の花を咲かせ、**花弁の色はヤマザクラやソメイヨシノに比べて比較的濃い紅色、花弁は 5 枚で、花序は散型上で花柄がほとんどなく、**葉が花とほぼ同時に展開する。若い枝は赤褐色、若葉は赤く、開花期はまだ小さいなどの図鑑記載事項にも特徴も一致します。**

一般にヤマザクラ系は下方で分岐、幹・枝が上方に伸びる特徴を持つ種が多く、病害虫にも強いので、狭いマンションの前庭などの植栽には適しており、多様されるようになって来ているように思われます。

８．西宮市のオリジナルのサクラ

先日訪れた西宮市の北山緑化植物園内にある植物生産研究センターでは、市花「さくら」の研究を進めて来ており、新品種の開発や植物バイオテクノロジーを活用した苗生産が行われて来ています。現在西宮市オリジナルサクラは現在 5 品種あり、特徴や開花時期がそれぞれ異なるとのことです。緑化植物園内にはこの 5 品種が植栽されていますが、夙川河川緑地で見られるオリジナルサクラは「夙川舞桜」と「西宮権現平桜」の 2 品種です。

「夙川舞桜（しゅくがわまいざくら）」

・西宮市内で自然交雑により生まれたサクラです。

花ははじめ淡紅色、のち白色に変化します。半八重咲きで、花弁がひらひらと波打つのが特徴です。

開花時期は 3 月下旬～4 月上旬で、ソメイヨシノとほぼ同時期に開花し、「花と同時に葉が開くヤマザクラ系で、若芽の赤茶色と白い花のコントラストも美しい品種との触れ込みです。

最近は、夙川河川敷緑地や公園など市内各所に植えられているのを見かけます。

「西宮権現平桜（にしのみやごんげんだいらざくら）」

・桜博士 笹部 新太郎 氏ゆかりの品種です。花は一重咲きで大輪、白色です。開花時期は 4 月上旬で、ソメイヨシノより 1 週間ほど遅く咲きます。丈夫で成長の早い品種で、耐潮性にも優れており海の近くでも元気に育つとのことです。この桜も夙川河川敷緑地の他　市内各所に植えられるようになって来ているようです。

＊この 2 種は、阪急「夙川駅」近くの夙川沿いの遊歩道脇に植えられているので紹介しておきます。

・4 月 6 日の夙川河川敷緑地公園散策時の映像です。手前の白花のサクラが「西宮権現平桜」で丁度満開時，後方のピンクのサクラが「夙川舞桜」で満開から散り初めに入る寸前となっている時期の姿です。

・花の映像「西宮権現平桜」
　葉の展開前に咲きます。

・花の映像「夙川舞桜」
花の色は、咲いた直後は白色だが日が経つと紅色に変化します。葉も開花後すぐに展葉して来ます。葉の色からヤマザクラ系であることが分かります。

＊ソメイヨシノのも満開を過ぎ、早や散り初め、今日の雨・風で明日は姿が変わっているかもしれませんね。花の咲き終わりを見とどけて今年の「花期」を纏めたいと思っています。

本報はこれで終わりとします。　以上